

「S・Y・Mな城南中生」(198の城南桜に期待する)

校長 赤木 完治

「S・Y・M」な城南中生!?

あるテレビを観ていたら、ある人気男性芸能人のD氏が、アルファベットの頭文字で会話や内容を表現していました。皆さんの方が良く知っていますね。私は、そのテレビを観ながら「本校の生徒だと何だろう?」しばらく考えた末、「S」「Y」「M」をつないで「S・Y・M(エスワイエム)な城南中生」にしました。中は

①「S」…「素直な城南中生」

これは、私のみならず本校に関わった教職員は皆感じている言葉です。頼んだこと以上のことをしてくれる生徒たちは、今では、まさに「本校教育活動の宝」です。

②「Y」…「優しい城南中生」

今まで、何度となく本校生徒の優しさを述べてきましたが、朝登校すると男女学年関係なく、挨拶している子どもたちは感動モノ。

③「M」…「真面目な城南中生」

最初はこどもっぽさ一杯の1年生ですが、徐々に期待される立派な中学生に成長します。やっぱり、根が真面目なんですね。何事にも一生懸命。大切にしていきたいものです。以上、3つを足して、「SYM」。

下校指導時の「また明日(あした)！」の声々は、本校が目指す「生徒や保護者、地域に寄り添う教育活動」推進の原動力です。これからも子どもたちの元気な挨拶の声が、毎日本校に響き渡るよう、学校・家庭・地域・行政を4つの車輪として、しっかり走っていききたいと思います。



【子どもの成長(宝は磨いてこそ輝く)】

本年度本校では、3年生の校長面談を原則、一人3回実施しました。現在は、最終・希望の4回目の校長面談を(必要に応じて)実施しております。回が進むにつれ思うことは、本校の子どもたちは、皆、よく自分の将来を見つめ、考え、最上級生としての自覚を持って、頑張っていることを痛感します。(面談の会話から)

【質問】「校則についてどうお考えですか」

【答え】「校則は大切なものなので、しっかりと守っていききたいと思います。」

【質問】「なぜ、校則があるのでしょうか?」

【答え】「学校が決めたからです」・・・

確かにそうなのですが、なぜ決める必要があるのでしょうか?校則のない学校もあります。でも、いずれにせよその目的は一緒です。「自分で自分を見つめ、当たり前前の事を実践し、社会人の一員として生きる素養を磨くため」が、大切な理由になっていると私は考えます。これから、社会にでる皆さんの周りには、法律をはじめ、様々なルールがあります。中学生は、まさに人生の一つの転換期にあり、とても多感な時期であり、時には「大人と小人が半々」。とまで言われることもあります。でも、子どもたちの考えや表現は、一人ひとり違って当たり前。だからこそ、柔軟かつ個に応じた対応が大切なのです。そのために一番大切な事は、子どもたちを取り巻く大人たちの導きです。はじめから大人だった人はいません。誰もが、この時期を乗り越えてきたのです。だからこそ、私たち大人の出番なのです。学校・家庭・地域社会、子どもたちをとりまく全ての大人が、その後姿をしっかりと見せながら、夢を語ってあげましょう。それが、子どもたちの夢ある未来に繋がる。本校職員は、そう考えています。「子どもたちの未来」は、無限です!!